



SPIO

Newsletter

Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成28年4月25日(月)

16

第16号

公益財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也



平素、SPIOの活動に対して皆様からご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本郷の旧事務所から湯島の現事務所に移って一年半が経過致しました。現在の事務所では理事会・評議員会等の各種会議を開くことが可能となり、極めて経済的で仕事の効率もあがりました。

平成27年10月26日に内閣府によるSPIOの立入検査が行われました。これは3年に1度、公益法人に義務付けられた検査です。内閣府公益認定等委員会の審査監督調査官と政策企画調査官がSPIO事務局において過去3年間の業務、会計等に関するチェックを行いました。当日午前10時より午後4時45分まで、業務内容の説明から始まり事業の公益性に重点をおいた質疑が続きました。終了時には、調査官が持ち帰って検討する事項はなく、公益性を絶えず念頭に置いて事業をするよう講評がありました。ご指摘、ご指導頂いた点に関しては今後その改善に向けて取り組んでまいります。

今年度から始まった林SPIO奨学金の助成は、国内で開催された国際学会に出席して発表を行った外国人若手医師5名に行いました。アジアに対してSPIOが助成することは当財団が設立時から考えていたことで、その一歩を踏み出したこととなります。また、コストコSPIO研究助成金は、コストコの寄附金によって設立され5年間継続いたしました。平成28年度が最後の助成となります。

SPIOは寄附金によって運営される助成財団です。多くのご寄附を頂くことにより、多くの助成が可能となります。何卒、SPIOの事業をご理解いただき今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

平成27年度事業報告

- 1 留学生(2名)への研究助成
- 2 若手日本人(7名)への助成
- 3 若手外国人(5名)への助成
- 4 国際的に有意義な研究への助成(3件)
- 5 SPIO Awardの表彰(1名)
- 6 国際学術会議等開催助成(8件)
- 7 寄附金募集助成(34件)
- 8 その他(ホームページ、ニュースレター他)

コストコSPIO研究助成金

今年度も、国際的に有意義な研究に対する助成として、以下の3件に対して、各々100万円を助成した。

- (1) 人工聴覚の普及について(近畿大学 土井 勝美)
- (2) 人工聴覚器による聴覚の再獲得もしくは補聴器支援システムの開発(岩手医科大学 佐藤 宏昭)
- (3) ブータン王国における耳科手術支援活動(仙台・中耳サージセンター 湯浅 涼)

平成27年度SPIO Award

平成27年度SPIO Awardは、対象となる15篇をSPIO選考委員会で審査した結果、名古屋市立大学勝見 さち代氏が選ばれました。

Sachiyo Katsumi: Quantitative analysis of facial palsy using a three-dimensional facial motion measurement system

ANL Vol.42, No.4, 275-283, 2015

平成27年度収支決算報告

6月開催の評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧ください。 <http://www.spio.or.jp>

SPIO クラブ

第117回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、村上 信五 会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOの助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

平成28年5月19日(木)・20日(金) 10:00~17:00 名古屋国際会議場 2号館1階 会議室213